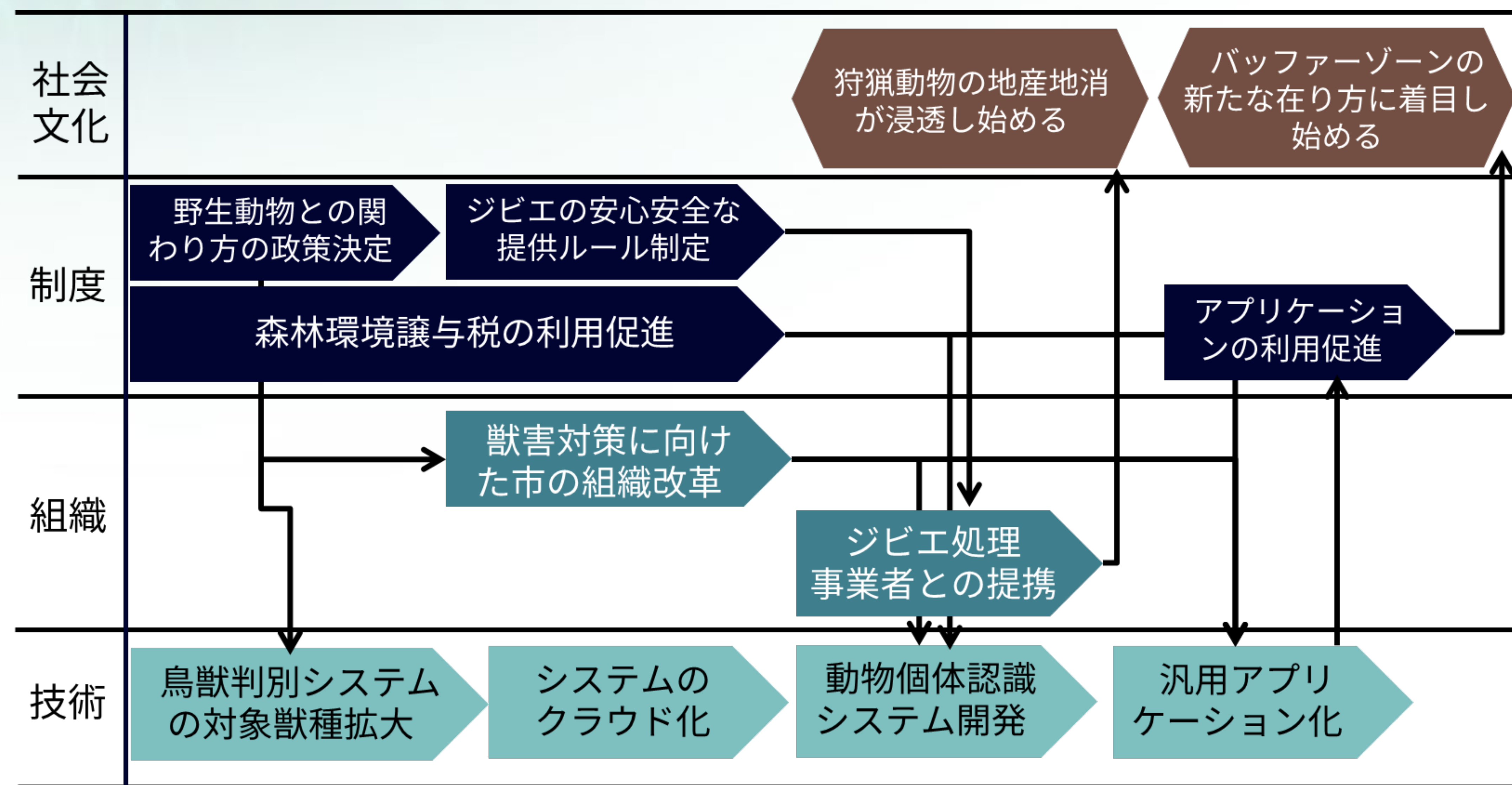


研究・技術のポイント

- サービスの社会実装に向けたロードマップを、行政や住民等を含めて共にデザインする方法を提案
- サービスの技術的な側面だけでなく、その影響を与える社会やその変容を鑑みた戦略立案を可能に

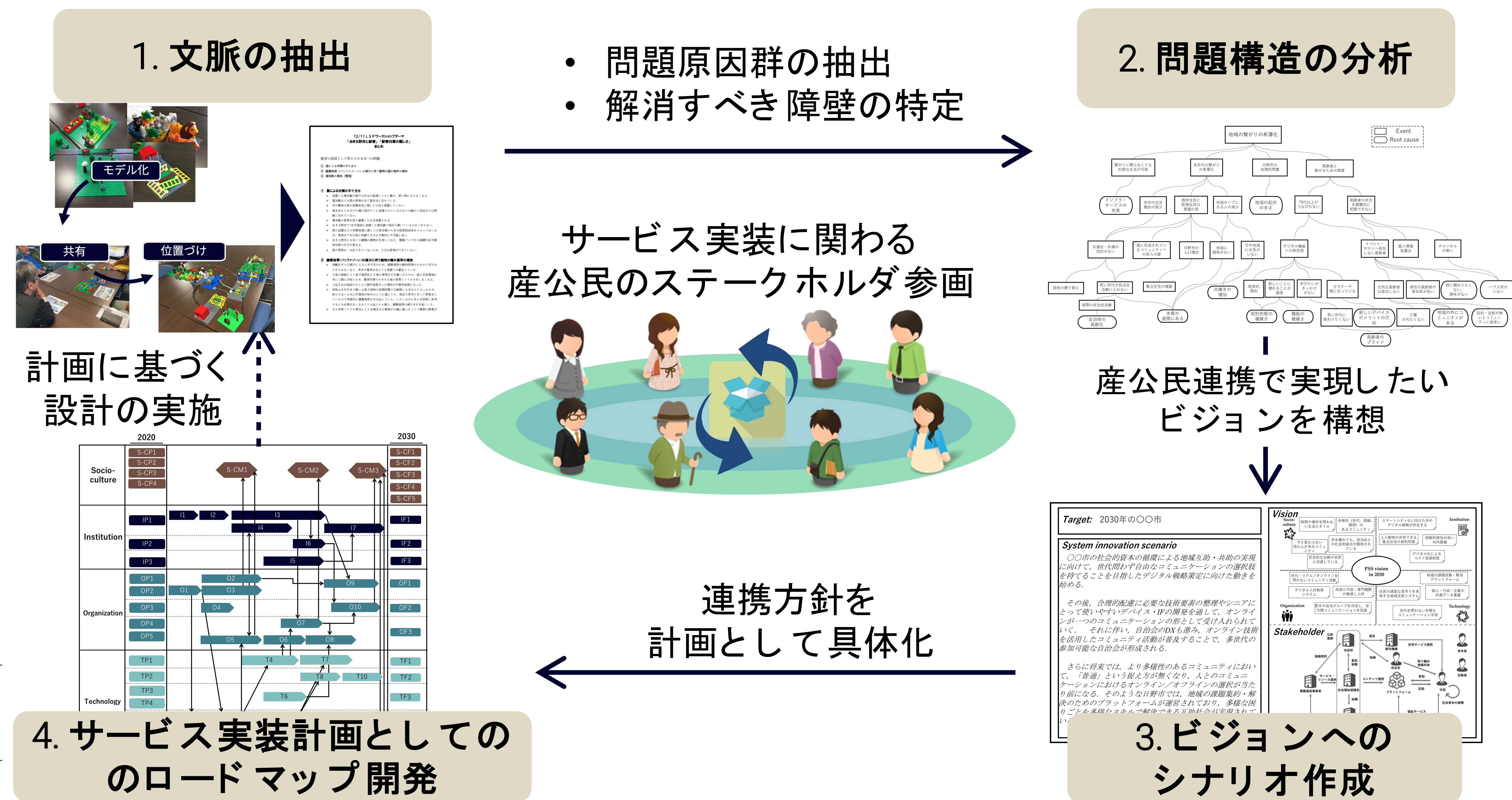
研究の概要

ロードマップの特徴



※ 獣害対策の鳥獣観測サービス設計への適用例（一部）

ロードマップデザインプロセス



目的	持続可能なサービスのデザイン
役割	サービスを実装するための、関連するステークホルダの活動指針となる計画
扱う概念	「社会文化」、「制度」、「組織」、「技術」 技術レイヤーは、製品・サービス・技術の概念を包括

今後の展望

スマートシティの実現に向けて、デジタルサービスをデザインし社会実装するためのロードマップ手法への展開と、実設計事例への適用

お問い合わせ先：人間拡張研究センター 三竹祐矢
yuya-mitake@aist.go.jp